

- 問1 直流電源に接続して電流を流しているコイルの内部に、鉄芯を差し込んだとき、コイル内部の磁界の強さはどのように変化しますか。 (2018年 石川県公立入試 類似)
1. 強くなる                      2. 弱くなる                      3. 変化しない                      4. 磁界が消滅する
- 問2 直列回路における電圧と電流の性質について説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 各抵抗器にかかる電圧の合計が電源電圧に等しくなり、各抵抗器を流れる電流の強さは抵抗の大きさに反比例する。                      2. 各抵抗器にかかる電圧はすべて電源電圧に等しくなり、回路の各点を流れる電流の合計が全体の電流となる。                      3. 各抵抗器にかかる電圧はすべて電源電圧に等しくなり、どの点を流れる電流の強さも等しい。                      4. 各抵抗器にかかる電圧の合計が電源電圧に等しくなり、どの点を流れる電流の強さも等しい。
- 問3 台はかりの上に、支柱に固定された重さ0.5Nの磁石を置きました。その磁石の真上にあるコイルに電流を流すと、コイルに0.2Nの電磁力が上向きに働き、コイルは上昇して静止しました。このとき、台はかりが示す値として正しいものはどれですか。 (2014年 長野県公立入試 類似)
1. 0.3N                      2. 0.1N                      3. 0.5N                      4. 0.7N
- 問4 水平な厚紙に垂直に導線を通し、一定の強さの電流を流しました。この導線から3cm離れた地点と6cm離れた地点のそれぞれに方位磁針を置いたとき、磁針の動きについて正しく述べたものはどれですか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 6cm離れた地点の方が、磁針の振れる角度が大きくなる                      2. 3cm離れた地点の方が、磁針の振れる角度が大きくなる                      3. 6cm離れた地点では、磁針の向きが3cmの地点とは反対になる                      4. どちらの地点でも、磁針の振れる角度は同じである
- 問5 「100V-1400W」と表示された電磁調理器を、100Vの電源で毎日1時間ずつ使用する場合と、500Wの電子レンジを毎日3時間ずつ使用する場合を比較した説明として適切なものはどれか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)
1. どちらの器具も1日あたりの電力量は同じであり、1400kWhである。                      2. 電磁調理器を100Vで使用したときの消費電力は、使用時間によって変化する。                      3. 電子レンジの方が1日あたりの電力量が大きく、その値は1.5kWhである。                      4. 電磁調理器の方が1日あたりの電力量が大きく、その値は1.4kWhである。
- 問6 磁界の中にある導線に電流を流したとき、導線が受ける力の向きを反対にするための方法として、正しい説明はどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 導線を太いものに取り替え、回路の抵抗を小さくする                      2. 磁石のN極とS極を入れ替えるか、または電流の向きを逆にする                      3. 磁石をより強いものに変え、電流の強さを2倍にする                      4. 磁石のN極とS極を入れ替え、さらに電流の向きも同時に逆にする
- 問7 磁界の中にあるコイルに電流を流したとき、コイルが受ける力について考えます。装置の設定を変更し、「磁石のN極とS極を入れ替える」操作と、「電流の向きを逆にする」操作の2つを同時に行いました。このとき、コイルが動く向きは最初に実験したときと比較してどうなりますか。 (2020年 北海道公立入試 類似)
1. 最初とは垂直な方向に動く                      2. 最初と同じ向きに動く                      3. 最初とは反対の向きに動く                      4. どちらの向きにも動かなくなる
- 問8 磁石とコイルを用いた電磁誘導の現象において、誘導電流の向きが決まる規則性について正しく述べたものはどれですか。 (2014年 長崎県公立入試 類似)
1. 磁石の移動方向を逆にしても、電流の向きは変化しない                      2. 磁石を動かす速さを変えると、電流の向きが逆になる                      3. 磁石をコイルの中で静止させている間も、電流は一方通行に流れ続ける                      4. 磁石の極の向きと移動方向のどちらか一方が変わると、電流の向きが逆になる
- 問9 電流計の500mA端子を用いて回路に流れる電流を測定したところ、0から5までの数値が記された目盛り盤において、指針が2と3の間にある「2.4」の位置を正確に指していました。このとき、回路を流れている電流の大きさは何mAですか。また、この電流計で測定した電流の値と、抵抗器にかかる電圧の値が比例関係にあるグラフにおいて、電流が100mAのときに電圧が1.5Vを示す場合、現在の測定値に対応する電圧は何Vになりますか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 電流は240mA、電圧は3.6V                      2. 電流は2.4mA、電圧は0.24V                      3. 電流は240mA、電圧は2.4V                      4. 電流は24mA、電圧は0.36V
- 問10 100Vの電源に1200Wの電気ケトルのみを接続して使用している状態から、さらに900Wのトースターを並列に追加して同時に使用しました。このとき、回路全体における電力、電流、抵抗の変化について正しく説明しているものはどれですか。 (2015年 静岡県公立入試 類似)
1. 並列接続では電圧が分割されるため、各器具に流れる電流が小さくなり、回路全体の抵抗は変わらない。                      2. 接続する器具が増えるため、回路全体に流れる電流が分散して小さくなり、回路全体の抵抗は大きくなる。                      3. 回路全体の消費電力が増えるため、流れる電流が大きくなり、回路全体の抵抗も大きくなる。                      4. 回路全体の消費電力が増えるため、流れる電流が大きくなり、回路全体の抵抗は小さくなる。
- 問11 消費電力が200Wであるテレビを、毎日5時間ずつ使用したとします。このとき、このテレビが1日に消費する電力量を「ワット時(Wh)」の単位で表した数値として適切なものはどれですか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
1. 1,000,000 Wh                      2. 200 Wh                      3. 40 Wh                      4. 1,000 Wh
- 問12 長さや材質が同じで、太さだけが異なる2本の電熱線があります。これらをそれぞれ電源装置につなぎ、同じ電圧を加えたときの電流の様子と、電気抵抗の性質について述べたものとして正しい説明を選びなさい。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 細い電熱線の方が、太い電熱線よりも電気抵抗が小さいため、電流が流れやすくなる。                      2. 太い電熱線の方が、細い電熱線よりも電気抵抗が小さいため、電流が流れやすくなる。                      3. 電熱線の太さが変わっても電気抵抗は変化しないため、流れる電流の強さは変わらない。                      4. 太い電熱線の方が、細い電熱線よりも電気抵抗が大きいため、電流が流れにくくなる。
- 問13 コイルに電流を流したときに生じる磁界の様子を、磁力線を用いて表したときの説明として最も適切なものはどれか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. 磁力線はコイルの内部を通り、途切れることのない曲線を描く                      2. 磁力線はコイルのまわりで、互いに交差したり枝分かれしたりするように描く                      3. 磁力線は磁界が強い場所ほど、線と線の間隔が広くなるように描く                      4. 磁力線は磁石のS極から出てN極へと向かう向きに矢印で描く